



# 2013年イエスキリストの受難週間黙想集



## <黙想のやり方>

名前: \_\_\_\_\_



1. まず、祈る(神様が御言葉をとおして語って下さるようにお祈りをして始めます)
2. その日の聖書箇所をゆっくり読みます。
3. 神様が自分に何を語っておられるか(悟り、考え、教えられたことなど)を聞きます。そして、書きます。
4. 語られたことを今日生活の中で実践します!(今日の優先順位や実践することも書いて見て下さい。)
5. 委ねる祈り(今日一日も主にすべてを委ねる祈りをして終わります。)



## 【イエスキリストの受難の御言葉】

【彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。人が顔をそむけるほどさげすまれ、私達も彼を尊ばなかった。まことに、彼は私達の病を負い、私達の痛みをになった。だが、私達は思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。しかし、彼は、私達のそむきの罪のために刺し通され、私達の咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私達に平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私達はいやされた。私達はみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、主は、私達のすべての咎を彼に負わせた。】(イザヤ書53章3-6節)

## <月曜日> エルサレム城に入城する神の子イエスキリスト



聖書本文:マタイ21:1-11(参考:マルコ11:1-11・ルカ19:28-40/ヨハネ12:12-19、イザヤ62:11-12) “こうして、イエスはエルサレムに着き、宮に入られた”

黙想-1. イエス様はどんな方でしたか。(例え-主の権威と謙遜をもっているイエス様)

どうして主がエルサレム城に入城したのでしょうか。(参考、イザヤ62:11-12)

2. ろばの主人は主がお入用なのだと言われた時すぐに渡しました。今日主が私をお入用したいと願うなら私もすぐに惜しまず主のために捧げられるのでしょうか。今日私が主のためにできることは何でしょうか。
3. ろばがすぐ主に用いられたように私も主のためにすぐ用いられる準備ができていますか。主にもっと豊かに用いられるために今日私に必要とされている準備はなんのでしょうか。
4. 主がこの世の人気と栄光より神様が下さった愛の使命! 苦難の道、十字架の犠牲の道に大胆に歩いて行きました。今日私はどんな道に歩いて行こうとしていますか。

## <火曜日> 実のないいちじくの木

聖書本文:マタイ21:18-22(参考 マルコ11:12-18)

(参考ヨハネ15:1-17:是非読んでください)



- 黙想-1. イエス様から実はぜんぜん見えなく葉のほかは何も見えなかったので呪われたいちじくの木のように私の信仰も実はなくクリスチャンの形、習慣、口だけ維持して来たのではないのでしょうか。もし今、主がご覧になって怒られる自分のところはないのでしょうか。
2. 私はイエスキリストを信じてからどんな部分が変わりましたか。(信じる前と今の人格、イエスキリストの御名を大胆に伝えて来ましたか。)
  3. 回復すべき私の信仰の生活は何か整理して見ながら主にゆだねて祈りましょうか。

## <水曜日> マリヤの献身

聖書本文:マタイ26:1-13(参考:マルコ14:3-9、ヨハネ12:1-8)

“この女は、自分にできることをしたのです。埋葬の用意にと、わたしのからだに、前もって油を塗ってくれたのです。まことに、あなたがたに告げます。世界中のどこでも、福音が宣べつたえられる所なら、この人のした事も語られて、この人の記念となるでしょう”



- 黙想—1. 愛って何だと思えますか。今日の御言葉を通して愛と言うのは‘与えたい心’だと思いませんか。  
 マリヤは主を心より愛したゆえ、惜しみなくイエスの頭に香油を注ぎました。私も主を心より愛して  
 いますか。そうするのであれば主の栄光と主の愛のため献身する心で私は主に何を捧げる事ができまか。  
 (例えば時間、才能など)
2. 私のためにご自分の御体を代価として惜しみなく投げ、死んでくださった主の素晴らしい愛に深く吟味し、  
 主に感謝しましょう。



**<木曜日> — ゲツセマネの祈り —**

聖書本文: マタイ26:36-46(参考: マルコ14:32-42/ルカ22:39-46/ヨハネ18:1)

“私の願いではなくあなたの御心のようになさせてください”

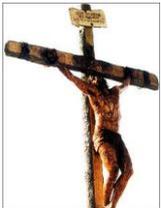
- 黙想—1. 今日のゲツセマネでのイエス様はどんな方でしたか。
2. 私は最近誘惑に陥らないように目を覚まして祈っていますか。
3. 私は自分より神様の願うように、神様の御心のとおりになさせてくださいと懇切に祈っていますか。
4. 父なる神様の御心がなされるために自分の中で放棄するべき事は何でしょうか。

**<金曜日> — 受難の十字架 —**

聖書本文: ヨハネ19:1-30(参考: マタイ27:45, 46/マルコ15:33, 37/ルカ23:32-49)

“イエスは酸いぶどう酒を受けられると、「完了した」と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった。”

- 黙想—1. 主を受け入れた喜びをいまも体験していますか。十字架が私たちに与える意味をもう一度深く  
 考えて見ましょう。(神様の愛、罪のさばきとゆるし、平和の真の回復の道)
2. あなたも主のために自分をすてて自分の十字架を負って従順に従いませんか。



**<土曜日> — アリマタヤのヨセフの信仰のように —**

聖書: マタイ27:57-61(マルコ15:42-47・ルカ23:50-56・ヨハネ19:38-42)

“アリマタヤのヨセフは、思い切ってピラトのところに行き、イエスのからだの下げ渡しを願った”

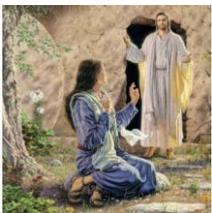
- 黙想—1. 私はアリマタヤのヨセフのような不利な状況の中であってイエスの味方になれるのでしょうか。
2. 私の地位と財物や自分の持ち物は主のために有効に使われていますか。



**<イースター主日> — イエスキリストの復活をつかむ信仰を！ —**

聖書: マタイ28:1-10(参考: マルコ16:1-11/ルカ24:1-12/ヨハネ20:1-31)

“恐ろしくなって、地面に顔を伏せていると、その人たちはこう言った。「あなたがたは、なぜ生きて  
 いる方を死人の中で捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです。(ルカ24:5)”



- 黙想—1. 私はイエスキリストの復活を確かに信じていますか。
2. 復活のイエス様に再び出会った弟子たちの生き方といまの私の生活はどんな違いがありますか。
3. 今日復活のイエスキリストを新たに受け入れるように御霊の助けを求めましょう。

【イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んで  
 生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。  
 このことを信じますか。】(ヨハネの福音書 11 章 25-26)

